

CYCLE

消費者運動ニュース No.1184 2023年6月25日

発行所 全大阪消費者団体連絡会
〒540-0026 大阪市中央区内本町2丁目1番19-430
TEL.06-6941-3745 FAX.06-6941-5699
https://hb8.seikyoku.ne.jp/home/o-shoudanren/
発行人 全大阪消費者団体連絡会
印刷 株式会社 耕文社
個人購読料 年間5,000円(送料込み・消費税別)
購読料送金先(口座名:全大阪消費者団体連絡会)
郵便振替口座 00900-9-8320
三井住友銀行天満橋支店 普通預金口座 0969062
近畿労働金庫大阪中央支店 普通預金口座 1161622

カジノ・ストップを引き続き求める

4月14日、大阪IR区域計画が国土交通大臣の認定を受けた。当会をはじめ反対の声がやまないこの計画は、どう評価されたのか。

認定の前提となるのが審査委員会の審査で、認定条件は合計点600点以上としたと今回公表された。

大阪IRの合計得点は657.9点とされた(右表)。かろうじてのクリアである。

項目別に見ていくと、【14】カジノ施設のデザイン等、【17】観光への効果、【23】地域との良好な関係構築のための取組の3項目では、得点率(筆者独自に計算追記)が合計点合格ラインの60%を下回っている。

この審査結果を受け、国土交通大臣は、IR整備法第9条第13項(IR区域の適正な整備を確保するため必要があると認めるときは、第11項の認定に条件を付し、及びこれを変更することができる)に基づき、7項目の条件を付した。その概要は以下の通り。

- ①デザインへの詳細設計・建設時の留意、②区域整備の効果推計データの精緻化、③カジノ収益の非カジノ事業への十分な投資、④地盤沈下・液状化・土壌汚染対策の検討、⑤地域との良好な関係構築、⑥依存防止対策の実効性、⑦審査委員会意見の反映

IRを推進する国の審査でも問題が浮上し、“適正な整備”への条件を付けざるを得ないのが大阪IR計画の実態であり、カジノ・ストップの可能性が示されたと捉えることができる。実際、大阪市の土壌

| 大阪の審査結果 | | 配点 | 得点 | 得点率 | |
|--------------------------|----------------------------|------------------------|-------|-------|-------|
| (1) 国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現 | IR区域全体 | 【1】コンセプト | 30 | 18.0 | 60.0% |
| | | 【2】建築物のデザイン | 30 | 19.7 | 65.7% |
| | | 【3】施設の規模 | 10 | 8.6 | 86.0% |
| | | 【4】ユニバーサルデザイン等 | 30 | 18.9 | 63.0% |
| | MICE施設 | 【5】MICE施設の規模 | 20 | 15.7 | 78.5% |
| | | 【6】MICE施設の機能等 | 50 | 32.9 | 65.8% |
| | | 【7】MICE施設の運営方針等 | 50 | 34.3 | 68.6% |
| | 魅力増進施設 | 【8】魅力増進施設 | 50 | 35.0 | 70.0% |
| | 送客施設 | 【9】送客施設 | 50 | 34.3 | 68.6% |
| | 宿泊施設 | 【10】宿泊施設の規模 | 20 | 14.9 | 74.5% |
| | | 【11】レストラン等のサービス | 10 | 7.1 | 71.0% |
| | | 【12】宿泊施設のサービス内容・体制 | 30 | 21.9 | 73.0% |
| | その他施設 | 【13】その他施設 | 30 | 19.3 | 64.3% |
| | カジノ施設 | 【14】カジノ施設のデザイン等 | 20 | 11.1 | 55.5% |
| (2) 経済的社会的効果 | IR区域が整備される地域、関連する施策等 | 【15】交通利便性 | 5 | 3.7 | 74.0% |
| | | 【16】交通アクセスの改善等 | 15 | 10.9 | 72.7% |
| | 【17】観光への効果 | 50 | 29.3 | 58.6% | |
| | 【18】地域経済への効果 | 50 | 37.1 | 74.2% | |
| | 【19】2030年の政府の観光戦略の目標達成への貢献 | 50 | 32.9 | 65.8% | |
| (3) IR事業運営の能力・体制 | | 【20】IR事業者等の事業遂行能力 | 50 | 37.9 | 75.8% |
| | | 【21】財務の安定性 | 50 | 33.6 | 67.2% |
| | | 【22】防災・減災対策、コロナ等の感染症対策 | 50 | 33.7 | 67.4% |
| | | 【23】地域との良好な関係構築のための取組 | 50 | 27.1 | 54.2% |
| (4) カジノ事業収益の活用 | 【24】カジノ事業の収益の活用 | 50 | 30.0 | 60.0% | |
| (5) カジノ施設の有害影響排除等 | 【25】依存症対策等 | 150 | 90.0 | 60.0% | |
| 合計点 | | 1,000 | 657.9 | 65.8% | |

対策788億円負担の不当性、格安の市有地賃料の不当性を訴える差止訴訟で市が敗訴すれば認定できないと、国担当者は回答したとのことである。

大阪にも日本にもカジノは要らない。大阪消団連は引き続き大阪IR計画への反対を表明する。

| | |
|------|------------------------------|
| 主な内容 | カジノ・ストップを引き続き求める……………1 |
| | 関電・関電送配電業務改善計画説明会……………2~3 |
| | 武力ではなく平和を愛する大阪消団連学習会……………4~5 |
| | 「日本から酪農・畜産の灯を消すな」学習会……………6~7 |
| | 大阪労連・「普通の暮らし」生計費試算……………8~9 |
| | 大阪府保険医協会・健康保険証廃止に反対……………10 |
| | 学習会のお知らせ……………11 |
| | ニュースピックアップ……………12 |